

発達障害のある児童生徒の読み書きの指導

日米シンポジウム

1 趣旨（概要）

知識基盤社会の到来や、グローバル化の進展など急速に社会が変化する中、次代を担う子どもたちには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて判断することや、異なる文化や歴史に立脚する人々との共存を図ることなど、変化に対応する能力や資質が一層求められています。一方、近年の国内外の学力調査の結果などから、日本の子どもたちには思考力・判断力・表現力等に課題がみられます。こうした課題は発達障害のある児童生徒にとってより顕著な課題であり、言語活動の充実を図るには、言語力に課題のある児童生徒の学力の底上げを行いつつ、児童生徒による教科間を連携させた多様な学びが求められます。そこで本シンポジウムでは、言語活動の充実を図るため、特に読み書きに課題のある児童生徒の学びを保障するために何ができるか、国内外における最新の知見や先進的な実践例を基に考えます。

2 開催日時

I：東京会場：12月13日（土） 9：30 ～ 17：30（9時受付開始）

II：広島会場：12月14日（日） 9：30 ～ 17：30（9時受付開始）

3 会場

I：広島大学東京オフィス国際会議室 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター（CIC）1階

II：広島JA会館 講堂 広島市中区大手町4丁目7-3

4 対象と定員

対象は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、学習支援員等の方です。

定員（先着順）は以下の通りです。

I：東京会場：12月13日（土） 100人

II：広島会場：12月14日（日） 300人

5 日程・内容

日 程	講義、演習等	内 容	講 師 等
9：30～9：40		挨拶・概要説明等 (挨拶は広島会場のみ)	宮谷 真人 広島大学大学院教育学研究科長 川合 紀宗 広島大学大学院教育学研究科教授
9：40～11：40	講義	読字障害研究の最新知見(仮題)	Dr. Karen Harris Mary Emily Warner Professor, Arizona State University
11：40～12：40	昼食		

12:40～14:40 (休憩10分)	講義	書字障害研究の最新知見(仮題)	Dr. Steve Graham Mary Emily Warner Professor, Arizona State University
14:50～16:00 (休憩10分)	講義	日本人の読み書き障害の特性(仮題)	宇野 彰 筑波大学人間系教授
16:10～17:00	実践発表	読み書き障害のある児童への支援のあり方(仮題)	中村 勝則(東京会場) 東京都墨田区立柳島小学校教諭 富永美智子(広島会場) 福岡県春日市立春日北小学校教諭
17:00～17:30	ディスカッション	読み書きに困難がある児童生徒へのエビデンスに基づく支援のあり方について(仮題)	Karen Harris Mary Emily Warner Professor, Arizona State University Steve Graham Mary Emily Warner Professor, Arizona State University 宇野 彰 筑波大学人間系教授 中村 勝則(東京会場) 東京都墨田区立柳島小学校教諭 富永美智子(広島会場) 福岡県春日市立春日北小学校教諭 川合 紀宗 広島大学大学院教育学研究科教授

※ 実践発表者以外、両日とも同じ内容となります。

6 その他、問い合わせ先

- 両日とも通訳がつきます。
- 宿泊および昼食は各自でご用意ください。
- 研修内容や運営の改善、および事業報告書の一部に使用するために、研修の様子を撮影します。予めご了承ください。
- この研修についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

広島大学大学院教育学研究科 特別支援教育学講座 牟田口辰己

電話 082-424-7171 FAX 082-424-7174

E-mail tatsumi@hiroshima-u.ac.jp